

支援室通信

No.1 (2016年7月15日発行)



西原村の避難所での交流

発行者：
カトリック福岡教区
熊本地震被災者支援室

福岡市中央区浄水通6-2 8

「神の優しさと温かさを届けつつ一人ひとりと出会えるよう、これからの年月がいつくしみに浸ることを、わたしはどれほど願っていることでしょうか。信じる人にも信仰から遠く離れた人にも、すべての人に、すでにわたしたちの間にある神の国のしるしとして、いつくしみの芳しい香りが届きますように。」

(教皇フランシスコ大勅書<イエス・キリスト、父のいつくしみの顔>5)

熊本地震から3ヶ月。多くの支援の輪がひろがり、教皇さまがおっしゃっている「いつくしみの芳しい香り」が漂っています。しかし、同時に被災された方々はまだまだ苦しい状況に置かれています。このたび、カトリック福岡教区熊本地震被災者支援室では、被災された方々と支援者の皆様への情報提供活動の一環として「支援室通信」を発行する運びとなりましたのでお届けいたします。

**困っていませんか？ 一人で問題を抱えていませんか？
周りに心配な方はおられませんか？**

被災者支援室とカリタス福岡・熊本支援センター（くまセン）は多くの方のサポートを受け、下記の支援を行っています。



**重いものを運んでほしい！
家の中の片付けを手伝ってほしい！
屋外の片付けを手伝ってほしい！！**

被災された方で、ボランティアに来てほしい方は遠慮なくご連絡ください。

くまセン（カリタス福岡・熊本支援センター）

Tel 080-2703-0266

義援金の申請受付について

熊本県の各小教区に在籍しているカトリック信徒、あるいは熊本在住のカトリック外国人信徒で被災された方にお見舞金を支給しています。詳細は所属教会の主任司祭、または被災者支援室まで。

被災者支援室

Tel 080-1761-4150

くまセン

(カリタス福岡・熊本支援センター)

菊池市隈府 278-2 菊池教会敷地内

5月9日に開設した「くまセン」は全国各地からボランティアを受け入れて、被災地にてボランティア活動を行っています。

ボランティアを希望される方は福岡教区のホームページにて、申込手順、募集要項を確認の上、お申し込みください。

くまセン (ボランティア受付専用)

TEL 080-2709-0237

水巻教会より8名 (男性6名、女性2名)の方がボランティアに参加されました!

教会のメンバーに「誰か一緒に行きませんか?」と声をかけたら、すぐにメンバーが揃いました。それぞれに「東北には行けなかったけど…」 「同じ教区のことなのに何もしないで良いのか…」との思いがありました。できることは限られていますが、被災者の方と交流できたこと、喜んでいただけたこと、活動に参加させていただいて心より感謝しています。ボランティア活動を通して、小教区の仲間としてのつながりも深まりました。

聖マリア学院大学看護学部4年生の2人に聞きました。

どんな作業をしましたか?

▶ 土砂を土嚢袋につめて運びました。

くまセンの印象は?

▶ 東京から来ている人が多かった。とっても美味しい食事が提供されてびっくり。

ボランティアに参加した感想は?

▶ 今回は地震から2ヶ月目に活動し、ブルーシートのかけられた家屋や災害の爪痕を実際に自分の目で見て、地震の発生が本当なんだと感じた。

▶ テレビでは報道されなくなったけど、ボランティアは必要とされている。

※久留米から高速道路を利用して、くまセンまで一時間半足らずで到着。高速道路料金が無料になる措置も活用されたそうです。



ありがとうございます!

全国各地、全世界より多くの支援、お祈りや励ましの言葉を頂戴しています。心より感謝申し上げます。

福岡教区に寄せられた支援金は158,969,770円となっております。(7月13日時点)

これらは熊本市内の被災教会の修復、被災者への見舞金、避難所への支援物資等に使用させていただいております。

支援金送金先:

郵便振替 01760-6-20729

加入者名 カトリック福岡司教区
※通信欄に「熊本地震支援金」とご明記ください

被災者のための祈り

天地万物の造り主である神よ、あなたが天地を創造されたとき、それは極めて善いものでした。

熊本の地もあなたがお造りになったもの。熊本地震で被災された人々の苦しみを顧み、心に留めてください。今もいつも、希望をもって生きることが出来ますように。一日も早い復興がかないますように。また、亡くなられた人々が、あなたの御手の中で、安らかに憩うことが出来ますように。

私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(福岡教区長 宮原良治認可)

これから…

くまセンが主に支援している西原村では仮設住宅への入居がはじまりました。これからは仮設住宅での見守り支援が必要になってきそうです。

また、被災地域の小教区でもまだまだ助けを必要としている方がいます。小さな声に耳を傾け、手を取り合って歩んで参りましょう。

支援室ホームページ

<http://fukuoka.catholic.jp/ejsien.html>

支援室 Facebook

<https://www.facebook.com/fukuoka.diocese.relief/>